

CP-2-ii-01	研究倫理	第2学年	前期 必修	1.5単位
担当者	輪千、重野、森、山本、渡辺（聡）、葛巻			
一般目標（GIO）	倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係わる倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。 自らが実施する研究に係わる法令、指針を理解し、それらを遵守して研究に取り組む。			
到達目標（SBOs）	1.生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。(a(2)-①-1) 2.生命倫理の諸原則について説明できる。(a(2)-①-2) 3.生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを述べる。(a(2)-①-3) 4.科学技術の進歩、社会情勢の変化に伴う生命観の変遷について概説できる。(a(2)-①-4) 5.医療倫理に関する規範について概説できる。(a(2)-②-1) 6.薬剤師が遵守すべき倫理規範について説明できる。(a(2)-②-2) 7.医療の進歩に伴う倫理的問題について説明できる。(a(2)-②-3) 8.患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。(a(2)-③-1) 9.患者の基本的権利の内容について説明できる。(a(2)-③-2) 10.患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。(a(2)-③-3) 11.知り得た情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。(a(2)-③-4) 12.臨床研究における倫理規範について説明できる。(a(2)-④-1) 13.「ヒトを対象とする研究において遵守すべき倫理指針」について概説できる。(a(2)-④-2) 14.正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。(a(2)-④-3) 15.自らが実施する研究に係わる法令、指針について概説できる。(g(2)-1) 16.研究の実施、患者情報の取り扱い等において配慮すべき事項について説明できる。(g(2)-2)			
受講心得・準備学習等	本講義は、薬剤師に求められる倫理観を養うことを目的とし、生命倫理から研究倫理までを広く学習する。「研究入門」で学んだ法的規制と廃棄物について復習しておくこと。			
事後学習・復習等	講義内容を中心に、講義時に配布したプリントを参照して復習し、理解を深めること。			
オフィスアワー	講義開講期間の金曜日 17時～19時			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式で行う。		
回	項目	内容	担当者	SBOコード
1	研究における倫理 (1)	授業の進め方 研究における不正行為	輪千 渡辺（聡）	a(2)-④-3 g(2)-1～2
2	研究における倫理 (2)	研究の安全性 科学における価値観	輪千 渡辺（聡）	a(2)-④-1 a(2)-④-3 g(2)-1～2
3	研究における倫理 (3)	責任ある研究行為とは 実験データの取扱い	葛巻 森	a(2)-④-1 a(2)-④-3 g(2)-1～2
4	研究における倫理 (4)	実験動物の取扱い 生命の尊厳	葛巻 森	a(2)-①-1～3 a(2)-④-1 a(2)-④-3 g(2)-1～2
5	研究における倫理 (5)	人を対象とした研究 フィールドワーク研究 臨床研究における倫理規範	葛巻 森	a(2)-②-1～2 a(2)-③-1～4 a(2)-④-1～3 g(2)-1～2
6	研究における倫理 (6)	生命倫理学の歴史と原則 社会における科学	山本	a(2)-④-3 g(2)-1～2
7	研究における倫理 (7)	利害の衝突（利益相反）	山本	a(2)-④-3 g(2)-1～2
8	研究における倫理 (8)	倫理違反とその対処	重野	a(2)-④-3 g(2)-1～2
9	生命倫理 (1)	生命倫理の諸原則	重野	a(2)-①-1～3
10	生命倫理 (2)	生命観の変遷	重野	a(2)-①-4
11	医療倫理 (1)	医療倫理に関する規範 薬剤師が遵守すべき倫理規範	輪千 渡辺（聡）	a(2)-②-1～3
12	医療倫理 (2)	医療の進歩にともなう倫理的問題	輪千	a(2)-②-1～3

			渡辺（聡）	
13	患者の権利	患者の基本的権利の内容 患者の自己決定権とインフォームドコンセント 守秘義務と情報提供	輪千 渡辺（聡）	a(2)-③-1~4
14	まとめ	全体の総括と演習問題	輪千 他5名	

成績評価の方法	定期的な課題（レポート）、小テストにより総合的に評価する。
成績評価の基準	課題（レポート）や小テストを点数化し、得点率 60%以上を合格とする。
教科書	プリント、随時紹介
参考書など	プリント、随時紹介

